

ひかり

一般社団法人

光陽福祉会

発行日 平成 25年12月 第41号

「なんでやねん。ほんまかいな。」

会長 菊池 利哉

今年も残りわずか、師走を迎え慌ただしい日々さらに輪を掛け忙しくなる季節です。こんな時期だからこそ落ち着いて行動したいものです。

さて先日、岐阜市内の児童発達支援事業所と障害児相談支援事業所の会議に出かけました。久しぶりの会議に少し緊張、でも、岐阜市内の事業所が集まり良い機会が持てていることに少々期待を膨らませました。会議室に入り、私が来たことに構える方もちらほら(笑)重々しい空気が流れる中、その会議は始まりました。司会者が本日の議題を説明する。私はその内容を聞いた瞬間「ほんまかいな？」と思わず絶句。議題にあがっていたのは「気の散る子に対する対応。」

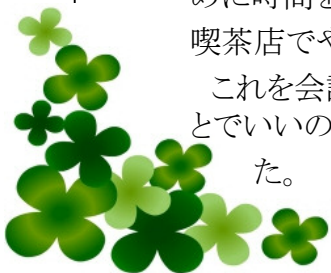
もちろんこの議題が悪いと言っているわけではない。しかし、専門職の集まりですよ。年齢や障害、環境や場面によって対応の仕方は違う。さらに、細かく言うと関わる人との関係や信頼性によっても大きく異なる。本人像や環境設定もない漠然とした議題。

「環境を変えることや声かけをすること」という安易な回答ぐらいインターネットにだって書いてある。右に習えで、すべての出席者が同じ意見を次々に答えていくことにも驚いた。専門職として意見や見解はないのか？

いたたまれなくなり、発言した「みんな同じ意見ですか？」返ってきた答えは、「難しいことを会議でやると発言がなくなるのでこのレベルでいいのです。」「やっとここまでできたのです。」心が折れた。

そして、心で叫んだ「なんでやねん。」「あなたたちを信頼し、あなたたちに子どもを預ける保護者は、どんな気持ちですか？そして、あなたたちと直接関わる子どもたちは、あなたたちの何を信頼したらいいんですか？」「素人はすぐにマニュアルを作りたがる、しかし、そんなマニュアルがあれば、保護者や学校、福祉従事者は苦労しない。」「一般論ならば、インターネットでも見て勉強すればそれで済む、何の為に集まり、何のために時間を費やすのか？」「会議をやっているれば安心する。その程度の集まりならば、喫茶店でやってくれればいい。」そう思い会議室を後にした。

これを会議と呼ぶことに、そして、そこにおいて「深めると話し合いにならないのでざらりとでいいのです。」と言われた言葉に「なんでやねん。ほんまかいなあな～。」しかなかった。



きっぷサポートはぐくみ

秋を楽しもう!! (今を感じる)

大島 由美子

2013年も残り一ヶ月となりました。寒さも日に日に増し、子ども達の服装も日に日にもこもこ(●^o^●)。冬の装いとなってきましたね。はぐくみでは10月・11月と、“秋”をめいっぱい感じて楽しむ事ができるよう、様々な取り組みを行いました。その中のいくつかを紹介したいと思います。

「おやつ作り」

目の前にあるさつまいもに“おいも”とテンションが上がる子供達。さつまいもの皮をむいてそのままパク!! お芋のきんとんも作ったよ♥ “ホクホク” “あったか〜い” あまくておいしいお芋をいただきました。



「どんぐりひろい」
どんぐりみ〜つけた!
発見のよろこびを感じました。



「マラカスを作ったよ!」
拾ってきたどんぐりを使ってペットボトルの中にポトンポトン♪
どんな音が鳴るのかな?



「どんぐり転がし」
コロコロころ… どこいったかな?
あっ ひっかかっちゃった!
ワクワク感と転がる楽しさを追いかけてっこ。



慌ただしい日常、季節問わずに手にすることができる野菜や果物、異常気象による季節感の不安定さ…

そのような現代だからこそ、季節を! その時を! 今を! 感じてもらいたいと思っています。“旬”のもの=生き物・食べ物、季節行事、季節ならではの遊び。

じかに、体で(目・耳・鼻・口・肌)、心で感じる事が大切なのです。

自然を感じる事、その時にしかできない事を体験・経験する事。それが、子どもの成長に必要な感性を育み、感性を豊かにしていくものだと思っています。

これからもその時を! 今を! 感じる取り組みを意識して、取り入れていきたいと思っています。

サポートセンターつぼみ

お菓子がいっぱい！夢いっぱい！ トリック・オア・トリート

吉田 奈央

こんにちは！ 指導員となり半年が過ぎ、つぼみの皆と初めての冬を迎えようとしています。吉田です！まだまだ失敗ばかりですが、元気なつぼみっ子達に揉まれ、愉快的先輩職員方に励まされ、優しいドライバーさん達に癒されながら頑張っています♪

さて、10月31日は「つぼみのハロウィンパーティー」でした。何日も前からとっても楽しみにしていた子ども達。「31日つぼみ来る人～！？」「は～い！」「僕は来れない～」こんなやり取りが毎日1回はお部屋から聞こえてきました。

カボチャやオバケ、コウモリ、飾り作りから準備が始まりました。廊下やお部屋の壁はユニークな飾りで賑やかです。皆のハロウィン気分も高まっていきました。

「先生！ハロウィンパーティー楽しみだね！」「うんうん♪」

「お菓子もらえるよね！」「そうそう！」

「オバケが出るんだよ！」「どんなオバケ？」

「ゾンビ～！！」わお！

「オバケが出るぞ～怖いぞお～」

皆の頭の中ではどんなハロウィンパーティーが開かれているのでしょうか。

可愛い想像力です！

つぼみハロウィンでは、皆が帽子やマント、仮面等で仮装して1階の部屋で待っている魔女さんに何か一芸(?)を披露してお菓子を貰うというものです。(タダでは貰えないよ！)

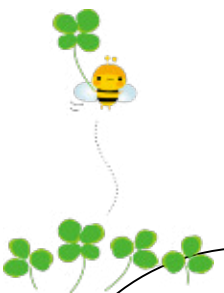
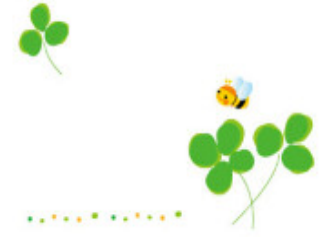
薄暗い廊下に何やら怪しげなBGM。いつもと違う雰囲気子ども達も職員もワクワク ソワソワ

魔法のステッキを振りながら難しい呪文「トリック・オア・トリート！」と言ったり(これがなかなか正確に言えない！)、先生が教えてくれた謎の呪文を言ったり、お絵描きしたものを見せたり、可愛い笑顔で「ちょーだい♡」をしたりと様々でした。緊張して上手く言えなかったり呪文を忘れちゃったりもご愛嬌です。お菓子も貰えて皆ご機嫌。おやつ時間はドーナツとジュースで賑やかにパーティー！不思議な1日を思い思いに楽しみました。

お菓子くれなきヤイタズラするぞ！

おやんちゃ君やお転婆さん達にいつもイタズラされている私です。お菓子貰えたから、イタズラはやめてネ！

・・・実はハロウィンをよく知りませんが、楽しかったからいいですよ！ 次のお楽しみはいよいよクリスマスにバトンタッチです♪



サポートセンターつぼみ

電話対応

坪内 啓

月日の経つのは早いもので今年もまさに暮れようとしており、寒さもいよいよ厳しくなってきました。皆様はお変わり無いでしょうか。

さて、今回は電話対応の取り組みをお伝えしていきたいと思います。この取り組みの目的は、正確に番号を打つ事ができるか？電話を通して伝えなければいけない事。伝えたい事を、自分の口で話す事が出来るか？に挑戦して行きました。

まずは取り組みに向かう前に、職員に向かって挨拶です。

「起立、気をつけ」

皆、凛々しい顔つきでビシッと決まっていますね。さすが高校生達です。しっかりと挨拶をすることができますね。

まず正確に数字の入力ができるかを見る為に電卓を使い練習して行きました。職員が指定した番号を間違えずに入力出来ているかを見ていくと、皆は電話の勉強＝自宅にかける勉強だと考え自宅の番号を入力していました。そこで私達が「プリントに書いてある番号を打つよ。」と伝えると皆正確に入力する事が出来ていました。

番号を打つ練習を終え、本番の取り組みで「自宅の番号を打ってみよう！」と伝えると、見本を見ること無く正確に入力出来ました。電話は「自宅に掛ける」としての意識があることはいい事なのですが、状況によっては自宅＝家族ではなく、学校、会社、つぼみ…様々ですね。困った時に必要不可欠な状況を伝える為の電話は家族にかけるだけではなく、その時々々の状況、状態に合わせてかける場所が違う事を今後は身につけていけるよう支援していきたいと思います。

続いて会話をする為の例文を読み職員とのやり取りをして行きました。言葉での指示をすぐに理解するのは難しいのでプリントに伝えたい内容を書き、

- ① 挨拶
- ② 自分の名前
- ③ 電話の理由(つぼみの活動である事を伝える)
- ④ 挨拶

一連の電話の流れを伝えて行きました。最初は普段電話を使わない子もおおり、電話が繋がった際も話をするのが難しかったりしましたが、一つ、一つ伝えたい事をプリントを見ながら先生とやり取りする内に電話の受け答えが上手になって行きました。一人、一人のペースは違っても何事も繰り返す事で身に着いて行くものですね。

最後に終わりの挨拶です。今日の締めくくりをしっかりとしていきます。職員「これでつぼみの勉強を終わります」子供達「終わります」

挨拶はどんな場面にも必要となってきます。今後も療育と同じ位、挨拶にも力を入れて取り組んでいきたいと思っています。

